

米州開発銀行日本信託基金「災害に強靱で持続可能な統合沿岸域管理（ICZM）政策実施支援」プロジェクト開始式



挨拶を行う宮坂祐介特命全権大使

2025年4月2日、米州開発銀行(IDB)バルバドス事務所にて、IDBローンによる「災害に強靱で持続可能な統合沿岸域管理」プロジェクト開始式とあわせて、日本信託基金「災害に強靱で持続可能な統合沿岸域管理政策実施支援」プロジェクトの開始式が行われ、バルバドス政府関係者及びIDB関係者ら約30名が出席しました。

IDBバルバドス事務所の招待により、宮坂大使はケイ・マコーニー・経済・投資省付大臣、エイドリアン・フォード・環境・国土美化・グリーン/ブルーエコノミー大臣らと共に出席し、挨拶を行いました。宮坂大使は挨拶の中で、このプロジェクトは日本とバルバドスの強固なパートナーシップの証であり、沿岸地域の適応力を高めつつ、強靱化の向上に貢献するという我々の共通のビジョンを体現するものであると述べました。

本プロジェクトはIDBローンによる「災害に強靱で持続可能な統合沿岸域管理」の実施を支援することを狙いとした技術協力プロジェクトで、IDB日本信託基金から65万米ドルの無償資金がバルバドス政府に拠出され、コンクリートで作られた防波堤の代わりにマングローブやサンゴ等を使用して、沿岸の洪水や侵食から守る取組など、自然を基盤とした解決策(NbS)に関する実施調査等が行われる予定です。